

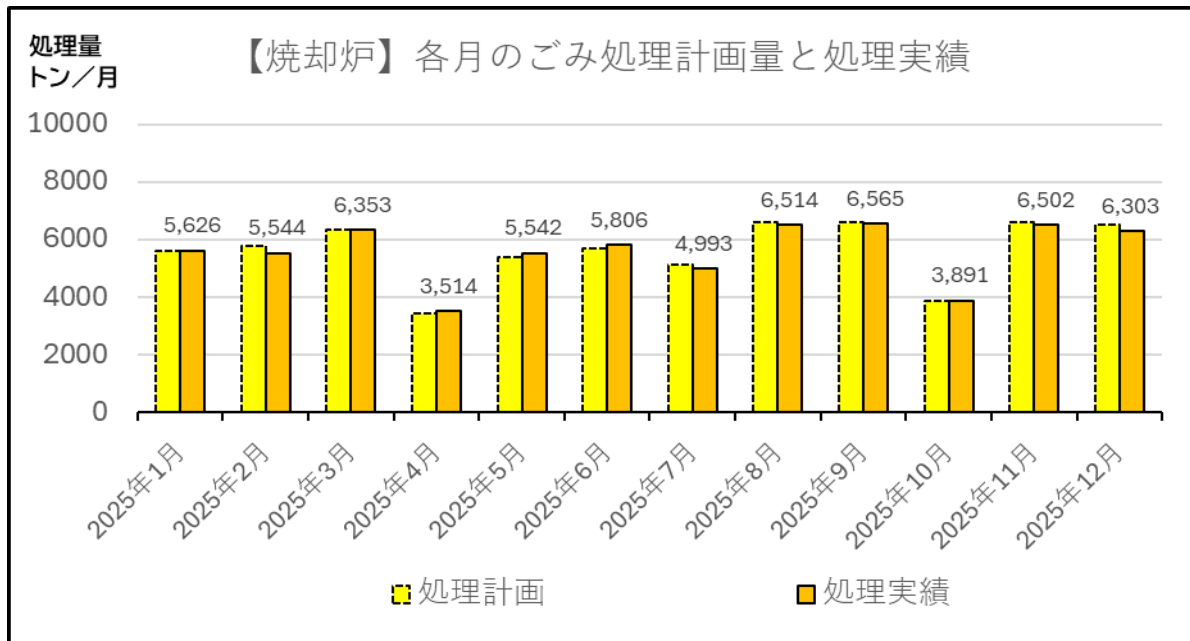
町田市バイオエネルギーセンターの稼働実績について（報告）

町田市バイオエネルギーセンターは、2022年1月の稼働開始から5年目を迎えました。2025年1月から12月までの期間、概ね計画に沿って稼働しましたので、以下のとおり報告いたします。

なお、稼働実績等については、近隣15町内会・自治会の代表者で組織する「運営協議会」にて、年2回（2月・8月）報告し、情報の共有を図っています。

1 施設の運転状況

(1) ごみ焼却量

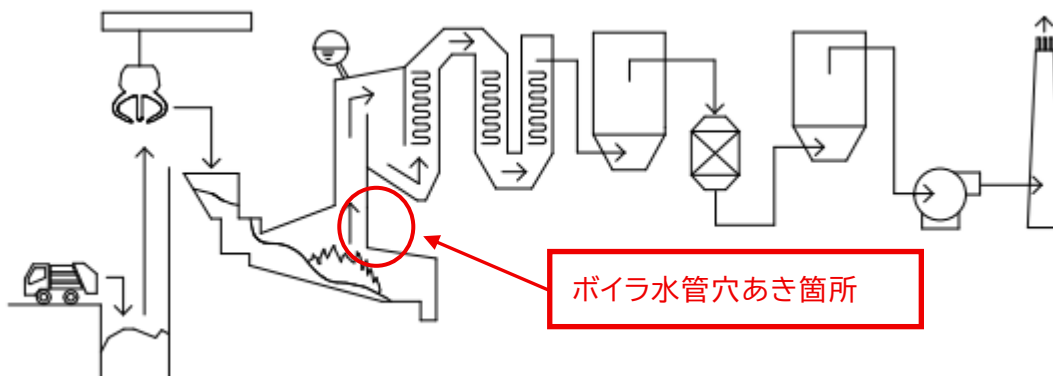


【施設の稼働に影響があった事象】

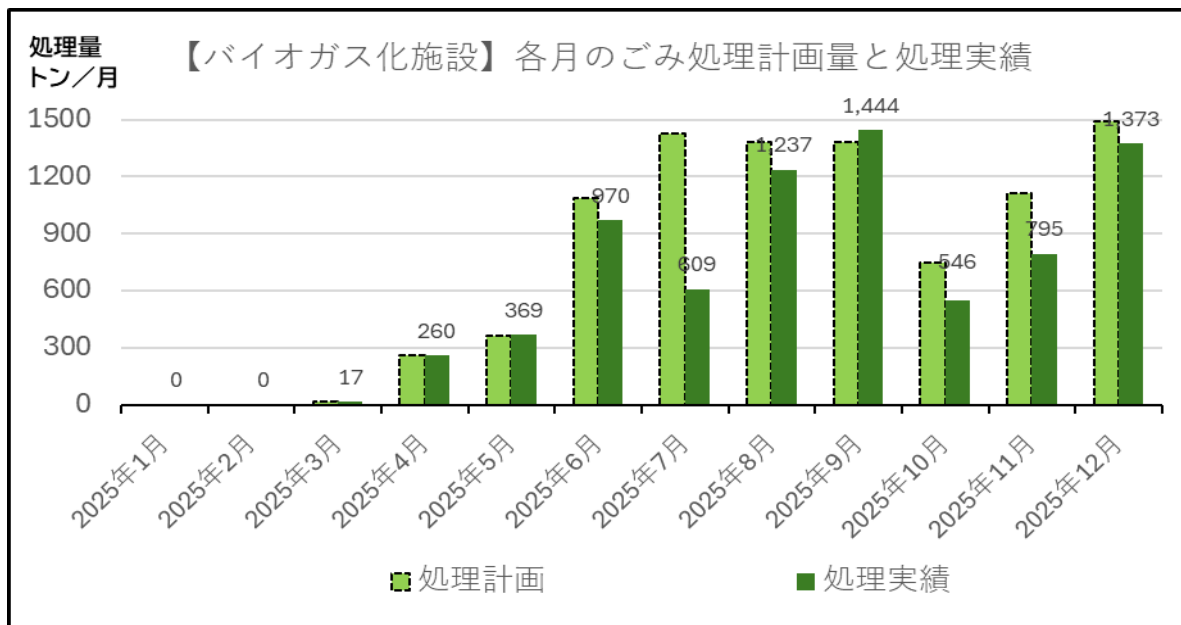
- 4月：1号炉ボイラ水管破孔による停止、補修
- 5月：2号炉ボイラ水管破孔による停止、補修
- 12月：エコセメント施設（たま広域資源循環組合）の火災に伴う焼却量削減調整

4月、5月のボイラ水管破孔（漏水・図1参照）においては、多摩ニュータウン環境組合の多摩清掃工場へ応援処理を依頼し、市内のごみ処理を滞りなく継続しました。

【図1】焼却炉全体図



(2) バイオガス化施設処理量



【施設の稼働に影響があった事象】

2023年11月に発生したバイオガス化施設前処理設備の火災対策及び復旧工事後、2025年3月下旬から試運転調整を開始し、7月中旬から通常運転に移行しました。

(3) 焼却炉の排ガス測定結果

項目	単位	法規制	自主規制値
ばいじん	g/m ³ _N	0.04	0.005
窒素酸化物	ppm	250	30
二氧化硫	ppm	580	10
塩化水素	ppm	430	10
水銀	mg/m ³ _N	0.03	0.03
ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³	0.1	0.01

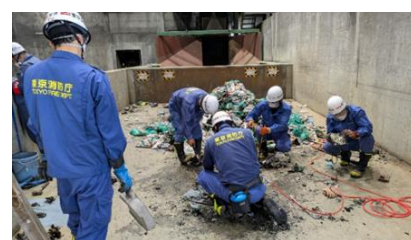
【焼却炉の排ガスの測定結果】

すべての測定結果は、大気汚染防止法およびダイオキシン類対策特別措置法に基づく規制値、ならびに自主規制値を下回っています。

2 火災発生状況と火災対策の成果

(1) 不燃・粗大ごみピット火災

2025年7月13日(日曜日)午後2時頃、不燃・粗大ごみピットから「燃やせないごみ」に混入したリチウムイオン電池が原因と見られる火災が発生しましたが、施設への被害はありませんでした。



消防署の現場検証の様子
(2025年7月14日)

(2) 火災対策の成果

リチウムイオン電池による火災対応として、行政収集の実施、消火設備の増強及び手選別の強化等の対策をしてきたことで、2023年12月以降、火災による施設被害はありません。

しかし、「燃やせないごみ」に混入しているリチウムイオン電池等の充電式電池は、年々増加傾向にあるため、今後も市民の皆様に対し、適正排出に関する啓発に努めてまいります。

